

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和4年4月19日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立第一小学校 第6学年、全児童

実施児童数（ 51 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語、算数・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

ウ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数および平均正答率は全国と比べて高く、中位層より上が多い。
平均正答率（本校 67／泉佐野市 62／大阪府 64／全国 65.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○必要なことを質問し、話し相手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることは概ねできている。</p> <p>1 三【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する。 (90.2/84.3)</p> <p>○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることは全国と比べて高い。</p> <p>1 四「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、口でどのように話すかを書く。 (51.0/44.4)</p> <p>【書くこと】 ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題がある。</p> <p>3 二【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。 (29.4/35.8)</p>	<p>【読むこと】 ○表現の効果を考えることは全国と比べて高い。</p> <p>2 三【山村さんの文章】の□Bにはいる内容として適切なものを選択する。 (60.8/58.1)</p> <p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことは概ねできている。</p> <p>3 三ア【文章2】の中の___部アを、漢字を使って書き直す。(はんせい) (84.3/63.5)</p> <p>3 三ウ【文章2】の中の___部ウを、漢字を使って書き直す。(したしむ) (76.5/65.4)</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる動きがあることを捉えることに課題がある。</p> <p>1 二【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する。 (51.0/68.4)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	51.0	59.2	◇	8.2
国語の勉強は大切だと思いますか	96.1	93.3		2.8
国語の授業の内容はよく分かりますか	86.3	84.0		2.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.2	91.8		1.6
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	84.3	78.0	◇	6.3

- 「話すこと・聞くこと」については、全国と比べて正答率が高い。また、「書くこと」「読むこと」も全国と比べると同じもしくは、それ以上である。しかし「書くこと」や「読むこと」では全体的な正答率が低く、無回答率も他の問題より高くなっている。
- 「書くこと」の問題では、文章を読んで答える必要があり、「書くこと」の正答率が低い原因は、「読むこと」の正答率が低いことと関連していると考えられる。
- 「国語の勉強は好き」だと感じている児童の割合は、全国と比べて低いことが課題である。
- 「解答を文章で書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が昨年と比べて、11.4ポイント高くなっている。
- 「国語の勉強は大切だと思う」と感じている児童の割合が、昨年に比べて、8.0ポイント増加しており授業づくり(めあての提示、ふりかえりなど)の成果が見られる。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数および平均正答率は全国と比べて高く、中位層より上が多い。
- ・どの領域においても、全国と比較して高い正答率が取れている。
- ・C領域「変化と関係」は全国より高い平均正答率が取れているものが多い。

平均正答率（本校 68／泉佐野市 61／大阪府 63／全国 63.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【A 数と計算】 ○被除数に空位のある整数の乗法の計算をすることが概ねできている。</p> <p>1 (1) 1050×4を計算する (90.2/92.4)</p> <p>○二つの数の最小公倍数を求めることが概ねできている。</p> <p>1 (2) 14と21の最小公倍数を求める (84.3/72.2)</p> <p>○示された場面を解釈し、除法で求めることが全国と比べて低い。</p> <p>1 (3) カップケーキ7個分の値段を$1470 \div 3$でもとめることができるわけを書く (68.6/76.0)</p> <p>○示された場面において、目的にあった数を処理の仕方を考察することに課題がある。</p> <p>1 (4) 85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ (39.2/34.8)</p> <p>【B 図形】 ○正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述することが全国と比べて低い。</p> <p>4 (1) 示されたプログラムについて、正三角形をかきことができる正しいプログラムに書き直す。 (43.1/48.8)</p>	<p>○図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方については概ね理解している。</p> <p>4 (2) 長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く。 (88.2/83.2)</p> <p>○示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断することが全国と比べて高い。</p> <p>4 (4) 示されたプログラムで書くことができる図形を選ぶ (64.7/57.6)</p> <p>【C 変化と関係】 ○百分率で表された割合を分数で表すことが概ねできている。</p> <p>2 (1) 果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す。 (90.2/71.1)</p> <p>○示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。</p> <p>2 (3) 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。 (23.5/21.4)</p> <p>【D データの活用】 ○分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉えることは全国と比べて高い。</p> <p>3 (2) 分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ。 (66.7/63.9)</p> <p>○目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることは全国と比べて高い。</p> <p>3 (3) 1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ。 (70.6/66.8)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	58.9	62.5		3.6
算数の勉強は大切だと思いますか	86.5	94.2	◇	7.7
算数の授業の内容はよく分かりますか	92.2	81.2	○	11
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.3	93.3	◇	5
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	76.5	69.3	◇	7.2
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	82.3	80.4		1.9
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.4	76.8		0.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	88.3	85.7		2.6

○算数の授業の内容がよくわかるかという質問では、全国に比べて11%高く、よく理解しようと学習に取り組むことができている。

○算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つかという質問では、全国より5%低く課題がある。

○全体的に全国よりも肯定的な意見の割合が高いことから、算数の学習に前向きに取り組んでいると考えられる。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数および平均正答率は全国と比べてほぼ変わらず，中位層より上が多い。
- ・B区分「地球」を柱とする領域は，全国と比べて高い正答率のものが多い。

平均正答率（本校 65／泉佐野市 58／大阪府 60／全国 63.3）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【A区分「エネルギー」を柱とする領域】</p> <p>○日光は直進することを理解することに課題がある。</p> <p>3（1）光の性質を基に，鏡を操作して，指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。 (29.4/27.8)</p> <p>○実験で得た結果を，問題の視点で分析して，解釈し，自分の考えをもち，その内容を記述することが全国と比べて高い。</p> <p>3（4）問題に対するまとめから，その根拠を実験の結果を基にして書く。 (43.1/35.1)</p>	<p>【B区分「生命」を柱とする領域】</p> <p>○問題を解決するために必要な観察の視点を基に，問題を解決するまでの道筋を構想し，自分の考えをもつことが概ねできている。</p> <p>1（1）見いだされた問題を基に，観察の記録が誰のものであるかを選ぶ。 (88.2/92.9)</p> <p>○昆虫の体のつくりを理解することが全国と比べて高い。</p> <p>1（3）昆虫の体のつくりの特徴を基に，ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ。 (78.4/73.1)</p>
<p>【A区分「粒子」を柱とする領域】</p> <p>○メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けていることが概ねできている。</p> <p>2（2）水50mLをはかり取る際に，メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り，さらにスポイトで加える水の量を選ぶ。 (82.4/70.0)</p> <p>○自分で発想した予想と，実験の結果を基に，問題に対するまとめを検討して，改善し，自分の考えをもつことが全国と比べて高い。</p> <p>2（3）水溶液の凍り方について，実験の結果を基に，それぞれの水溶液が凍る温度を見だし，問題に対するまとめを選ぶ。 (68.6/62.8)</p>	<p>【B区分「地球」を柱とする領域】</p> <p>○予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して，問題を解決するまでの道筋を構想し，自分の考えをもつことが全国と比べて高い。</p> <p>4（2）夜の気温の変化について，他者の予想を基に，記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ。 (76.5/64.5)</p> <p>○観察などで得た結果を，結果からいえることの視点で分析して，解釈し，自分の考えをもつことが全国と比べて高い。</p> <p>4（3）結果からいえることは，提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ。 (58.8/45.5)</p> <p>○水是水蒸気になって空気中に含まれていることを理解することに課題がある。</p> <p>4（4）鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は，何が変化したものかを書く。 (49.0/62.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	80.4	79.7		0.7
理科の勉強は大切だと思いますか	80.4	86.5	◇	6.1
理科の授業の内容はよく分かりますか	90.2	88.5		1.7
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	68.6	67.9		0.7
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.5	77.2		0.7
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	13.7	26.6	○	12.9
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	78.5	78.0		0.5
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	82.3	84.9		2.6
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	72.6	72.2		0.4
今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか	98.0	96.5		1.5

○「理科の勉強は大切だと思う」児童の割合が全国と比べて低いことが課題である。そのことは「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」児童の割合が全国と比べて低いことと関連していると考えられる。

○「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思っている」児童の割合が全国と比べて低いことが課題である。

○全体的に全国よりも肯定的な意見の割合が高いことから、理科の学習に前向きに取り組んでいると考えられる。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、4択以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	○毎日、同じくらいの時刻に起きている割合が、全国を下回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に起きている。 <84.3/90.4>
	○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている割合が、全国を上回っている。	○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。 <78.5/71.5>
	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしている割合が、全国より少ない。	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしている。 <43.0/50.2>
	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを行っている（スマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）をしている割合が、全国より少ない。	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などを行っている（スマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）をしている。 <25.5/32.5>
	○自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある割合が、全国を下回っている。	○自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。 <58.8/65.1>
	○地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりしている割合が、全国を下回っている。	○地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。 <21.5/30.6>
	○今住んでいる地域の行事に参加している割合が、全国を下回っている。	○今住んでいる地域の行事に参加している。 <43.1/52.7>

<p>【自分自身について】</p>	<p>○自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている割合が、全国を上回っている。</p> <p>○難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦している割合が、全国を上回っている。</p> <p>○人が困っているときは、進んで助けている割合が、全国を上回っている。</p>	<p>○自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。 $\langle 94.2 / 87.2 \rangle$</p> <p>○難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦している。 $\langle 82.4 / 72.5 \rangle$</p> <p>○人が困っているときは、進んで助けている。 $\langle 96.1 / 88.9 \rangle$</p>
<p>【家庭学習の様子】</p>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合が、全国を上回っている。</p> <p>○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上読書をしている割合が、全国を上回っている</p>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしている。(学校の授業の予習や復習を含む) $\langle 78.4 / 72.1 \rangle$</p> <p>○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり30分以上読書をしている。 $\langle 45.1 / 36.4 \rangle$</p>
<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○5年生までに受けた授業で、ICT機器の活用している割合が、全国を下回っている。</p> <p>○学校で、授業中に自分で調べる場面で、ICT機器を使用している割合が、全国を下回っている。</p> <p>○学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、ICT機器を使っている割合が、全国を下回っている。</p> <p>○学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、ICT機器を使っている割合が、全国を下回っている。</p>	<p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使用している。 $\langle 39.2 / 83.2 \rangle$</p> <p>○学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用している。 $\langle 27.5 / 76.1 \rangle$</p> <p>○学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使っている。 $\langle 11.8 / 49.4 \rangle$</p> <p>○学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週1回以上使っている。 $\langle 15.6 / 45.2 \rangle$</p>

本校の取組

◎これまでの取組

本校では、「心豊かな子どもの育成をはかり、確かな学力向上に努める」を教育目標とし、今年度からは昨年度の全国学力・学習状況調査の結果から見えてきた実態を踏まえ、課題の見られた国語科を研究教科とし、研究授業の実施を含めた校内研修会を計画的に行い、以下のような取り組みを図っている。

(1) 安心して学べる環境づくり

「泉佐野スタンダード～主体的な学びの実現に向けて～」を参考にし、授業のはじめには「めあて」、授業の終わりには「まとめ」や「ふりかえり」を一貫して行ったり、「話し方」「聞き方」「発表の仕方」の教室掲示をしたり、学習の準備や学習規律を統一して指導することで、安心して学べる環境づくりに努めている。

(2) チャイム着席

メロディーチャイム（本鈴の前に校歌のメロディーを流す）を流し、チャイム着席を推進している。

(3) 朝学：算スキ

火曜日の朝学でのスキルアッププリント・復習プリント（前学年も含む）、木曜日の朝学での100マス計算を継続的に取り組むことで、基礎基本の定着を図ってきた。また、100マス計算の計算オリンピックを毎学期行うことで、達成感が持てるようにも努めている。

(4) 朝学：国スキ

水曜日の朝学でのスキルアッププリント・復習プリント（前学年も含む）、金曜日の朝学を「書く力の日」とし、「ことばの力」や「ミニ作文」、「要約プリント」、「視写プリント」など書く課題を出し、基礎基本の定着、書く力や語彙力の向上に努めている。

(5) 国語教育の推進

今年度より研究主題を「主体的に学び、自分の思いや考えを表現する子どもの育成」と設定し校内研修をすることで、国語の授業が好きな子どもの育成、主体的に自分の思いや考えを表現する子どもの育成を目指している。

(6) 授業力の向上

相互参観週間を設け、互いの授業を参観することや、学校全体での研究授業の練り上げ、討議会を設けることで教師の授業力向上に努めている。

◎これからの取組

今年度から始まった研究教科、国語の研究主題「主体的に学び、自分の思いや考えを表現する子どもの育成」の推進や、上記のこれまでの取り組みを基本としつつ、課題が見られた点に関しては以下のように重点的に取り組む。

(国語)

- ・単元の導入の工夫や身近なことにつなげた教材づくりをしていく。
- ・朝学「書く力の日」において、「ミニ作文」や「要約」などで書く力や語彙力の向上を継続して取り組むことにあわせて、少ない量の文章を読み取る練習も取り入れる。

(算数)

- ・文章問題等の立式の際に、自分の考えの説明を言語化（書く、話す）する場面を確保する。
- ・朝学「算スキ」において、現在学習している単元以外の復習を取り入れる。

(理科)

- ・学習内容の知識と日常の現象とを授業や授業外でも結び付け、ふりかえっていく。

(その他)

- ・ICTの活用について教員で実践を共有し、様々な学習活動で有効活用をする。